

外国人パワーで地域を豊かに

～多文化共生のまちづくり～

現在、日本に住む外国人住民は200万人を超え、山口県でも約1万4千人が暮らしています（県民の約100人に1人の割合）。日本に永住し、地域社会で活動する外国人住民も増えています。

少子高齢化・人口減少で社会の担い手が減少する中、外国人住民は地域を共に支える貴重なパートナーとなり得る存在です。様々な文化・国籍等を持つ人々が、互いの「違い」を尊重しつつ、共に活躍できる「多文化共生」のまちづくりについて考えてみませんか。

講演では、外国人住民が地域の活性化に取り組んでいる事例を紹介いただくとともに“災害”や“人口減少”といった視点からも、なぜ今「多文化共生」が必要なのか、お話しいただきます。

○日時：平成26年 6月 28日（土） 13：30～（開場 13：00）

○場所：山口県総合保健会館 研修室1（山口市吉敷下東三丁目1番1号）

＜第1部＞ 13：30～15：00 講演（※講演のみの参加も可）

演題：「外国人パワーで地域を豊かに～多文化共生のまちづくり～」

講師：NPO法人多文化共生センター大阪 代表理事 田村 太郎 氏

参加費
無料

＜第2部＞ 15：10～16：30 講師との意見交換（希望者のみ）

○対象：多文化共生や、外国人住民とのまちづくりに関心のある方

〔一般県民、国際活動団体、自治体職員、大学関係者、企業関係者、自治会関係者、日本語ボランティア、NPO・NGO、多文化共生サポーター、外国人住民等〕

○定員：150名

○主催：公益財団法人山口県国際交流協会

○共催：山口県

○申込方法：

電話・FAX・Eメール・郵送・来所のいずれかで、6月20日（金）までに当協会にお申込みください。（会場地図・申込書裏面）

＜講師プロフィール＞



田村 太郎 氏（NPO法人多文化共生センター大阪 代表理事）

兵庫県伊丹市生まれ。在日フィリピン人向けレンタルビデオ店に勤務していたが、阪神・淡路大震災時に被災した外国人への情報提供活動を行ったのをきっかけに、1995年に設立された「多文化共生センター」で事務局長に就任。同センター代表、（財）自治体国際化協会参事などを経て、2006年より現職。東日本大震災直後に内閣官房企画官にも就任し、現在は復興庁復興推進参与を兼任。甲南女子大学、関西学院大学で非常勤講師（「社会起業論」等）も務める。

＜お申込み・お問い合わせ＞

（公財）山口県国際交流協会（〒753-0814 山口市吉敷下東四丁目17番1号）

TEL：083-925-7353

FAX：083-920-4144

E-mail：yiea@yiea.or.jp

URL：http://www.yiea.or.jp/

会場 山口県総合保健会館 研修室 1（山口市吉敷下東三丁目 1 番 1 号）
 （駐車場あり：会場向かいの専用駐車場、付近の臨時駐車場を利用可能）



参加申込書

電話・FAX・Eメール・郵送・来所のいずれかでお申し込みください。

申込み締め切り：平成26年6月20日（金）

〒753-0814 山口市吉敷下東四丁目 17 番 1 号 （公財）山口県国際交流協会
 TEL：083-925-7353 FAX：083-920-4144 E-mail：yiea@yiea.or.jp

ふりがな	
名 前	
住 所	〒
電話番号	
Eメールアドレス	
所属（任意）	
参加希望	<input type="checkbox"/> 第1部（講演）のみ参加 <input type="checkbox"/> 第1部（講演）・第2部（講師との意見交換）両方参加
講師に聞いて みたいこと	